

施策評価シート

施策コード	3103	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○体力の向上、ストレス発散など市民の健康づくりに対するニーズの高まりや自由時間の増加などから、だれもがいつでもどこでも気軽に参加できる生涯スポーツやレクリエーションへの関心が高まっている。</p> <p>○各小学校区単位で運動会が実施されるなど、地域において市民が主体となった活動が展開されている。</p> <p>○学習塾など学校外の学習活動や室内遊び時間の増加など、子どもを取り巻く生活環境の変化により、子どもの体力の低下が懸念されている。</p> <p>○県をホームタウンとするプロサッカーチーム、ガイナレ鳥取のJリーグでの活躍の機運を盛り上げるため、応援者の増加等を目標としたサポートが必要。</p> <p>○今後も市民の主体的な活動を支援し、子どもから高齢者まで、世代や興味、関心に応じてスポーツやレクリエーションに参加できる環境づくりを促進することが必要。</p>
めざす方向	市民がいつでもスポーツやレクリエーション活動を実践できる環境を整え、スポーツやレクリエーション活動を通じて、生涯にわたって健康で豊かな人生を送ることができるまちをめざす。
達成するための対策・手段	<p>①「市民総スポーツ運動」の推進</p> <p>②地域活力の創出に向けたスポーツ振興</p> <p>③スポーツ交流の推進</p> <p>④各体育施設の整備</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	市民体育祭参加者数	人	目標	24000	24000	25000	25000	25000
				実績	23000	24369	23520	16559	0
				目標達成率	96%	102%	94%	66%	
		(指標の説明) 市民体育祭の参加者総数。(基準値は平成21年度)							
	2	スポーツレクリエーション祭参加者数	人	目標	1100	1100	1200	1200	1200
				実績	1036	894	942	979	0
				目標達成率	94%	81%	79%	82%	
		(指標の説明) スポーツレクリエーション祭の参加者総数。(基準値は平成21年度)							
	3	ガイナレ鳥取1試合平均観客入場者数	人	目標	5000	5000	6000	6000	6000
				実績	3692	3133	4097	3069	0
目標達成率				74%	63%	68%	51%		
(指標の説明) ホームゲームでのガイナレ鳥取1試合平均観客入場者数。(基準値は平成22年度)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	300,108	263,422	320,118	340,050	0

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>本市では小学校区ごとに地域体育会が組織され、スポーツ推進委員の地域での生涯スポーツの普及啓発活動も相まって、地域単位でのスポーツ活動の普及・推進体制が確立されている。さらに、地域体育会と各種目団体の協働により、他種目を長期間に渡り校区対抗で得点を競う市民体育祭を中心とした各種スポーツ大会の開催や、地域のスポーツ・レクリエーション活動の場としての学校体育施設の開放など、市民が生涯に渡ってスポーツやレクリエーションに参加できる環境づくりを推進している。</p>
---	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>本市は地域体育会や体育協会などの関係団体と協力しながら、市民体育祭を核にスポーツ・レクリエーションの振興を図っており、市民の健康の維持増進に大きく貢献している。また東京オリ・パラを契機に市民のスポーツ振興への機運が高まるなか、各種スポーツ大会の開催やハイレベルな大会・合宿の誘致に加え、地元プロサッカーチームガイナレ鳥取の支援や、より充実したスポーツ環境をめざし各体育施設の整備にも努めている。少子高齢化が進むなか、競技力向上のみならず、生涯スポーツの推進、青少年の健全育成など、今後スポーツに対するニーズの多種多様化が予想され、本施策も引き続き継続・発展させていくことが重要である。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	001086	重点事業区分	-	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	海洋センター整備事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	指定管理
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	海洋センター整備費		予算事業コード	01-09-05-05-06-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	体育振興と健康の増進を図る
手段 (どうするのか)	体育施設を維持・管理する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		年度別実績	海洋センター整備 鳥取市B&G海洋センター大規模(艇庫・プール・体育館ほか)改修	海洋センター整備 なし	海洋センター整備 佐治町B&G海洋センター体育館 改修設計 改修(建築)工事 改修(電気)工事	海洋センター整備 佐治町B&G海洋センター体育館 改修設計 改修(建築)工事 改修(機械)工事	海洋センター整備 佐治町B&G海洋センタープール 改修設計 改修(建築)工事 改修(機械)工事
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	47,627	0	24,473	33,961	0	
	直接経費 A	46,877	0	23,744	33,209	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	13,400	17,900	0
		その他	16,500	0	10,300	15,300	0
一般財源	30,377	0	44	9	0		
人件費 B	750	0	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	整備完了件数	件	目標	0	0	1	1	0
				実績	0	0	1	1
(指標の説明) 大規模改修済施設数(体育館2、プール4、艇庫1)								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】施設係 0857-20-3373</p> <p>【9次総の施策体系】3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 6 7 (教080)</p> <p>【事業の概要】 現在、鳥取市には4館の海洋センターが整備されているが、どの施設も建設から25年以上経過しており、鉄骨の錆など老朽化により利用に支障をきたしている個所が多く見受けられる。 これら施設を年次的に改修することにより、利用者の利便を図り、市民の体育振興と健康増進に寄与する。</p> <p>【事業の成果】 23年度 38,923千円 鳥取市B&G海洋センター(体育館・プール・艇庫)大型改修 25年度 23,744千円 佐治町B&G海洋センター体育館大型改修(建築・電気) 26年度 33,209千円 佐治町B&G海洋センタープール大型改修(建築・機械)</p> <p>【今後の課題・方向性】 一つの自治体が4館の海洋センターを管理しているのは、全国でも数少なく、今後施設の統廃合を含め、今後のありかたを議論していく必要がある。 ※その他財源の諸収入は、地域海洋センター修繕助成金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	整備完了件数			100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	B&G財団により無償譲渡された海洋センターを維持管理していくことにより、市民の体育振興と健康推進をはかる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	施設を安全かつ有効に利用していくためには、随時適切な改修が不可欠である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	適切に大規模改修を行うことで、施設の耐用年数を伸ばすことができ、市民の体育振興と健康増進をはかる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	緊急度・利用者数を考慮しながら年次計画的に改修を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設の利用状況、老朽化なども含め、必要性を検討し、統廃合など今後の施設のあり方を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001060	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	スポレク祭開催事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成2年度～ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	外部委託
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	スポレク祭開催費		予算事業コード	01-09-05-04-10-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民。
意図 (どのような状態にするために)	年齢・性別を問わず、気軽にスポーツに親しめる機会を提供するため。
手段 (どうするのか)	レクリエーションスポーツやニュースポーツを中心とした、市スポーツレクリエーション祭を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・大会実施	平成24年度 ・大会実施	平成25年度 ・大会実施	平成26年度 ・大会実施	平成27年度 ・大会実施	
	年度別実績	・大会実施(13種目) 参加者1,036人	・大会実施(11種目) 参加者894人	・大会実施(オープン1種目を含む13種目) 参加者942人	・大会実施(オープン1種目を含む13種目) 参加者979人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,340	1,210	1,380	1,395	0	
	直接経費 A	590	467	651	643	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	590	467	651	643	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市スポーツレクリエーション祭参加者数	人	目標	1000	1100	1200	1200	1200
			実績	1036	894	942	979	0	
			(指標の説明) 鳥取市スポーツレクリエーション祭に参加する人数						
	2	鳥取市スポーツレクリエーション祭参加者の満足度	%	目標	0	0	0	80	90
				実績	0	0	0	90.3	0
		(指標の説明) アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした参加者の割合							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】 3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 6 3 (教0 7 1)</p> <p>【事業の概要】 生涯スポーツの普及や振興を図るため、市民誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心とした『鳥取市スポーツレクリエーション祭』を開催する。</p> <p>【事業の成果】 大会への参加者は年々増加傾向にあり、生涯スポーツの普及や振興に寄与している。 (実績) 平成24年度 146チーム・894人 (11種目) 平成25年度 173チーム・942人 (13種目) 平成26年度 170チーム・979人 (13種目)</p> <p>【今後の課題・方向性】 生涯スポーツ等の普及・推進に寄与している大会である。種目や運営方法等の見直しを行い、参加者のニーズに合った大会となるよう検討していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市スポーツレクリエーション祭参加者数	104%	81%	79%	82%	
	2	鳥取市スポーツレクリエーション祭参加者の満足度				113%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	誰もがスポーツを気軽に楽しめる大会として、生涯スポーツの普及・推進に寄与している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市の恒例スポーツ事業となっており約1,000人の参加があったが、近年やや減少傾向にある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各種目協会等への委託により、円滑な運営体制が整っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	気軽に参加できる大会づくりに努めているが、一部参加者が固定化している問題もある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	生涯スポーツ等の普及・推進に寄与している大会であり、種目や運営方法等の見直しを行い、参加者のニーズに合った大会となるよう検討していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001076	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取マラソン開催事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	その他
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取マラソン開催費		予算事業コード	01-09-05-04-48-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民（県内外問わず）。
意図 (どのような状態にするために)	多くの方へマラソンの魅力を伝えるとともに、観光地のPRや、おもてなしによる鳥取市のイメージアップを図り、全国へ向けた情報発信をするため。
手段 (どうするのか)	県や観光・経済団体などと連携しながら、市内各地の観光名所等を巡るフルマラソン大会を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・大会実施	平成24年度 ・大会実施	平成25年度 ・実行委員会の開催 ・新コースの設定 ・大会実施	平成26年度 ・実行委員会の開催 ・大会実施	平成27年度 ・実行委員会の開催 ・大会実施	
	年度別実績	・大会実施 参加者2,622人	・大会実施 参加者2,881人	・実行委員会の設立及び開催(年2回) ・新コースによる大会の実施(年1回) 参加者3,012人	・実行委員会の設立及び開催(年2回) ・大会実施(年1回) 参加者3,393人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,750	3,743	10,186	8,557	0	
	直接経費 A	3,000	3,000	8,000	6,300	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,000	3,000	8,000	6,300	0	
人件費 B	750	743	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取マラソン参加者数	人	目標	2000	2100	3000	3000	3000
			実績	2622	2881	3012	3393	0	
			(指標の説明) 鳥取マラソンに参加する人数						
	2	鳥取マラソンへの県外からの参加者数	人	目標	0	0	1800	1800	2100
				実績	0	0	1771	1950	0
		(指標の説明) 鳥取マラソンに県外から参加する人数							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】 3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 6 5 (教0 7 5)、1 2月補正予算・P 4 2 (教0 1 3)</p> <p>【事業の概要】 県内唯一のフルマラソン大会である、『鳥取マラソン』を開催する。</p> <p>【事業の成果】 マラソン大会への参加者は年々増加傾向にあり、本年度も鳥取市を広くアピールすることができた。 (実績) 平成24年度 参加者2,881人 平成25年度 参加者3,012人 平成26年度 参加者3,393人</p> <p>【今後の課題・方向性】 交通規制等各所と連携をとりながら、毎年の反省事項を解消し、運営体制を充実させる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取マラソン参加者数	131%	137%	100%	113%	
	2	鳥取マラソンへの県外からの参加者数			98%	108%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるマラソン大会であり、鳥取市の地域振興およびスポーツ推進に寄与できる大会である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	参加者は増加傾向にある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実行委員会事務局を日本海新聞社に置き、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態となっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市民のみならず、県外からの参加も対象としている。公平性は評価できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	年々参加者が増加傾向にあり、鳥取市が全国にアピールできる大会へと成長しつつある。今後も運営体制を充実させ、参加者の増加につなげるよう継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001057	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民体育祭開催事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和33年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	外部委託
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民体育祭開催費		予算事業コード	01-09-05-04-09-01	
		ガイナール鳥取1試合平均観客入場者数			3,692人 6,000人	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び鳥取市各地域
意図 (どのような状態にするために)	生涯スポーツの普及推進を図るほか、地域のつながりや一体感の醸成、活力のあるまちづくりに向け、市民総スポーツ運動の実現をめざす。
手段 (どうするのか)	小学校区対抗により得点を競い合う、市民体育祭を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・市民体育祭の開催	平成24年度 ・市民体育祭の開催	平成25年度 ・市民体育祭の開催	平成26年度 ・市民体育祭の開催	平成27年度 ・市民体育祭の開催	
	年度別実績	・市民体育祭の開催 参加者延べ23,895人 参加種目延べ449種目	・市民体育祭の開催 参加者延べ24,369人 参加種目延べ481種目	・市民体育祭の開催 参加者延べ23,520人 参加種目延べ472種目	・市民体育祭の開催 参加者延べ16,559人 参加種目延べ428種目 (台風のため陸上競技が中止)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,358	9,448	9,350	9,465	0	
	直接経費 A	1,861	2,022	2,065	1,943	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,861	2,022	2,065	1,943	0		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	参加人員	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			人	目標	25500	25500	26000	26000	26000	
			実績	23895	24369	23520	16559	0		
	(指標の説明) 市民体育祭に参加する人数									
	2	各校区の延べ参加種目数	種目	目標	528	528	528	528	528	
				実績	449	481	472	428	0	
(指標の説明) 各校区の参加種目の合計(全校区が全種目に参加した場合、528種目)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】 3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 6 2 (教0 6 9)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市民体育祭は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まった。44の小学校区対抗で約半年間にわたり、15種目の競技を行い得点を競うもので、選手・役員・応援に多くの市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小学校区対抗とすることで地域のつながりや一体感を醸成し、活力のあるまちづくりに寄与している。 (実績) 参加者数(選手、役員、応援等含む延べ人数) 平成24年度 24,369人 平成25年度 23,520人 平成26年度 16,559人(陸上競技中止) 経費内訳: 大会運営委託料、競技用品、会場借上料、表彰関係品、プログラム印刷 その他消耗品等</p> <p>【今後の課題・方向性】 競技の運営方法や開催日程等、地域体育会等の意見を反映し、より参加しやすい大会作りに向け、見直しを行っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	参加人員	94%	96%	90%	64%	
	2	各校区の延べ参加種目数	85%	85%	89%	81%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	毎年多くの校区、市民が参加しており、市民層スポーツ運動の中核となっている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生涯スポーツの推進や、世代間交流に有効であり、活力のあるまちづくりに寄与している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	運営を各種目協会へ委託しており、円滑な運営体制が整っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全校区を対象に開催しており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	生涯スポーツの推進に寄与している市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、競技実施方法等に改善を加えながら継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001044	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ガイナレ効果による鳥取力向上事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	鳥取市街なか駐車場サポーター利用促進補助金交付要綱
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ガイナレ鳥取力向上事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-36	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外のサポーター
意図 (どのような状態にするために)	ホームゲームでの観客満足度を最大限に高め地域経済により大きな波及効果と雇用創出をもたらす。また、アウェイゲームでの本市魅力発信を行い、本市への来客数の増大を目指す。
手段 (どうするのか)	バードスタジアム内でのおもてなし体制整備の推進及びホームゲーム時の総合的な交通対策を推進する。また、情報提供の充実などを通じて、観光・経済活性化策を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 民間委員も含めたチーム拡充、J2他都市の取り組み調査など	平成24年度 前年度状況を判断し検討	平成25年度 前年度状況を判断し検討	平成26年度 前年度状況を判断し検討	平成27年度 前年度状況を判断し検討	
	年度別実績	各種案内板等の設置 おもてなし体制整備	チーム会議による鳥取力向上戦略方針の策定 各種案内板等の設置、おもてなし体制整備等	チーム会議による鳥取力向上戦略方針に基づく事業の実施(各種案内板等の設置、おもてなし体制整備等)	各種案内板等の設置、おもてなし体制整備等		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,086	13,885	11,311	6,624	0	
	直接経費 A	6,837	11,657	11,311	4,367	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,500	2,500	2,475	1,620	0
	一般財源	4,337	9,157	8,836	2,747	0	
人件費 B	2,249	2,228	0	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	観戦者数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	5000	5230	5470	3500	3500				
	実績	3692	3083	4097	3069	0					
	(指標の説明) ホームゲーム観戦者数(1試合平均)										
	2	目標	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)											
3	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 3 2 (企 0 0 3)</p> <p>【事業の概要】 プロスポーツチームである『ガイナレ鳥取』を活かして、鳥取力の向上や地域の活性化が図られ、これにより更なる社会的・経済的波及効果の獲得につなげることを目的に各種事業を実施する。</p> <p>【事業の成果】 ホームゲーム開催時の総合的な交通対策、鳥取市の情報発信、スタジアム内のおもてなし向上、市内での消費誘導などの活動を実施した。 アウェイからの来場者に対して、市内観光地と連携したイベントや観光PRを行い、観光地への誘客を行った。 ・平成26年度観客動員数 55,242人(うちアウェイ観戦者数671人) ・補助金名:鳥取市営サッカー場観客輸送支援事業費補助金、鳥取市街なか駐車場サポーター利用促進事業補助金、鳥取市営サッカー場周辺交通誘導警備事業費補助金、バードスタジアムおもてなし向上事業補助金、鳥取市ガイナレ効果による地域力向上事業費補助金、鳥取市親子サッカー教室事業費補助金 ・交付先:(株)SC鳥取ほか ・金額:3,015千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ガイナレ鳥取を活用して市内の誘客が図れるよう、ハード・ソフトツールを活用した観光、交通、地域振興等の取組を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	観戦者数	74%	59%	75%	88%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の応援機運の盛り上げやガイナレ鳥取を最大限に活用した経済活性化や地域振興のために不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	ホームゲームでのおもてなし整備を進めることで観客満足度を高めるとともに、アウェイでの本市の魅力を発信を行うことで、地域経済への波及効果と観客を促進している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本市の物産、観光などのPRにより経済効果がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本市の経済活性化と地域振興のための事業であり、市全体で取り組みを行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取で唯一のJリーグサッカーチームであるガイナレ鳥取の観戦客の増加を目指し、アウェイサポーターへのおもてなし強化、交通対策の充実などガイナレ効果を最大限に活用した地域の活性化を進める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001058	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	姫路市スポーツ大会開催事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	昭和52年度 ~ 全期
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす		根拠法令、根拠計画等	
施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民体育祭参加者数		3,000人	5,000人	運営方法	外部委託
	スポーツレクリエーション祭参加者数		1,036人	1,200人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	姫路市スポーツ大会開催費		予算事業コード	01-09-05-04-10-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市及び姫路市。
意図 (どのような状態にするために)	昭和47年に姉妹都市提携を結んで以来、各分野に渡って交流を広げている姫路市との一層の親善と友好を深めるため。
手段 (どうするのか)	会場地を持ち回りにスポーツ交歓大会を開催し、役員・選手が相互訪問する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・スポーツ交歓大会の実施(鳥取市開催)	平成24年度 ・スポーツ交歓大会の実施(姫路市開催)	平成25年度 ・スポーツ交歓大会の実施(鳥取市開催)	平成26年度 ・スポーツ交歓大会の実施(姫路市開催)	平成27年度 ・スポーツ交歓大会の実施(鳥取市開催)	
	年度別実績	・スポーツ交歓大会の実施(鳥取市にて4種目開催) ○バレーボール ○バスケットボール ○ソフトテニス ○グラウンド・ゴルフ	・スポーツ交歓大会の実施(姫路市にて8種目開催) ○バレーボール ○バドミントン ○ゲートボール ○サッカー ○水泳 ○軟式野球 ○卓球 ○テニス	・スポーツ交歓大会の実施(鳥取市にて4種目開催) ○バレーボール ○バドミントン ○ソフトボール ○弓道	・スポーツ交歓大会の実施(姫路市にて4種目開催) ○軟式野球 ○バスケットボール ○サッカー ○柔道		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,327	1,312	1,299	1,031	0	
	直接経費 A	577	569	570	279	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	577	569	570	279	0		
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		姉妹都市(鳥取市=姫路市)親善スポーツ交歓大会参加者の満足度	%	目標	0	0	0	80	90
			実績	0	0	0	69.7	0	
			(指標の説明) アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした参加者の割合						
	2		目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 スポーツ振興係 0857-20-3371</p> <p>【9次総の施策体系】 3103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 6 2 (教0 7 0)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市と姫路市は、昭和47年に姉妹都市提携を結んで以来、各分野に渡って交流を広げてきた。スポーツにおいても、昭和52年から毎年、4種目程度の種目の役員・選手が相互訪問し大会を開催している。</p> <p>【事業の成果】 役員・選手団の相互訪問により、両市で毎年度交互に開催し、交流を深めている。 (実績) 平成24年度(姫路市開催) 競技: バレーボール、バドミントン、ゲートボール、サッカー、水泳、軟式野球、卓球、テニス 平成25年度(鳥取市開催) 競技: 卓球、バドミントン、ソフトボール、弓道 平成26年度(姫路市開催) 競技: 軟式野球、バスケットボール、サッカー、柔道</p> <p>【今後の課題・方向性】 姉妹都市交流の一環として効果的な事業となっている。両市民競技者の友好交流とともにスポーツ活動を推進するため、今後も継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	姉妹都市(鳥取市=姫路市)親善スポーツ交歓大会参加者の満足度				87%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市として、スポーツを通じて交流を深めることは、両市のスポーツ推進に繋がるものと考え。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	両市民がスポーツを通じて交流を深める良い機会を提供しているものと考え。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	競技運営については、各種目競技協会に委託している。また、大会開催地は、毎年交互開催としている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	両市間で開催競技を決定し、選手の選出は各種目競技協会に任せているが、一般観覧者の受け入れができないため、対象は限定的である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	姉妹都市交流の一環として効果的な事業となっている。両市民競技者の友好交流とともにスポーツ活動を推進するため、今後も継続する。	